

学校目標

『己に克つ』という強い意志をもち、粘り強く最後までやりぬく

全校研究テーマ「自ら思考し、知識・技能を活用できる生徒を育成する指導はどうあったらよいか」

めざす生徒の姿

- ・自ら気づき、考え、進んで学ぶ人になろう
- ・豊かな心を養い、思いやりのある人になろう
- ・心身ともに健全な、逞しい人になろう
- ・戸隠に深くかかわり、戸隠を愛する人になろう

学校経営の基本方針

生きる力を身につけた戸隠を愛する子どもの育成を目指し
縦の接続と横の連携を図りながら、開かれた学校づくりを行う

具現の基盤をなす
6プロジェクト

<生きる力>=1 確かな学力P 2 戸隠を愛する豊かな心P 3 健やかな体P
4 縦の接続P 5 横の連携P 6 開かれた学校P

五カ年計画の
三年目へ

本年度の重点

- ①個の支援体制を明らかにし、個別の支援を行う。
- ②学力支援の方法や家庭学習のあり方を吟味し、学力向上を推進する。
- ③体験学習や道徳、進路等の関連を図り、キャリア教育を確立する。
- ④人との関わりの中で、肯定的な自己理解と自己有用感の獲得を図る。
- ⑤生徒のつぶやきや申し出に気を配り、初期対応をていねいに行う。
- ⑥生徒が創る学校づくりのあり方を提示し、生徒会活動の充実を図る。

学校評価・アンケートから捉えた課題（22年度～）

- ・家庭学習のあり方を含め、学習指導の充実
- ・個別指導の時間を確保し、学力の向上を
- ・将来の生き方を見据え、自立していく力の育成を
- ・人との関わり方等、体験学習を通しての人間関係力と心の醸成を
- ・生徒、保護者が相談しやすい学校体制への転換を

<確かな学力P>

昨年度の主な成果

- ・学力向上支援及び生徒による授業評価の実施
- ・一人一公開授業・相互参観による授業改善

〔今年度の計画〕

- ①個の支援体制を明らかにし、個別の支援を行う。
 - ・T T教科の拡大と個別対応の充実
 - ・週1回の個別支援の実施
 - ・少人数学習の中で習熟度学習の推進
 - ・学力向上支援の充実
- ②学力支援の方法や家庭学習のあり方を再吟味し、学力向上を推進する。
 - ・学力向上に向けた支援内容の充実
 - ・家庭学習を含めた学習体制の整備確立
 - ・公開授業や相互参観等による授業力の向上
 - ・N R T検査の効果的活用。
 - ・管理職参観の実施および授業支援

<戸隠を愛する豊かな心P>

昨年度の主な成果

- ・域内職場体験の実施
- ・道徳GDの作成
- ・人の関わりに視点をのこした体験活動の創出

〔今年度の計画〕

- ③体験学習や道徳、進路等の関連を吟味し、キャリア教育として位置づける。
 - ・体験活動や進路学習やと関連づけた指導の実践化
 - ・人間関係力に視点をあてたスキル学習の実践化
 - ・体験を通しての勤労観の育成
- ④人との関わりの中で、肯定的な自己理解と自己有用感の獲得を図る。
 - ・自己肯定感や自己有用感に係わる道徳指導の実践
 - ・人間関係づくりのためのエンカウンターの実施
 - ・「戸隠タイム」の指導計画作成

<健やかな体P>

昨年度の主な成果

- ・食に関する家庭との連携
- ・年間計画の作成
- ・生徒の実態にもとづいた性教育の実践

〔今年度の計画〕

- 指導内容の体系化を進め、指導計画を作成する。
 - ・「健康食育」の視点に立った、本校独自の指導計画作成
 - ・地域学校保健員会の設立
 - ・健康食育における家庭との連携推進
 - ・衛生委員の活動の充実及び自己評価の実施
- 生徒の実態にもとづく、各学年の性教育の実践を積み上げる。
 - ・小学校とのカリキュラム連携と授業実践の積み上げ
 - ・携帯電話やインターネットにおけるサイトの危険性についての指導

キャリア教育 『戸隠タイム』の推進

総合的な学習の時間、道徳教育、進路指導を中核とした全教育活動の実践

基本目標 将来の生き方を考え、自らの目標に向かって努力していく能力を育てる<勤労観を基盤とする職業観の育成 人間関係形成能力の育成>

<縦の接続P>

昨年度の成果の概要

- ・中学職員の小学校授業参観
- ・小中職員合同懇談会
- ・指導計画の交換

⑤生徒のつぶやきや申し出に気を配り、初期対応をていねいに行う。

- ・対応や支援における校内研修の実施
- ・校内相談体制の周知
- ・保護者との意見交換の充実

○小中の連携として実施すべきことを決め出し計画的に実施する。

- ・計画的に取組と合同研修会の開催

<開かれた学校P>

学校運営検討委員会

昨年度の成果の概要

- ・学校自己評価の改編および報告書の検討
- ・ホームページの定期更新 PTA 五役との情報共有

⑥生徒が創る学校づくりのあり方を提示し、生徒会活動の充実を図る。

- ・生徒提案を支援する中での肯定的な自己理解の推進
- ・生徒の活動による新たな伝統の創造
- 学年だよりの内容の充実を図るとともに保護者の意見を集約する。
 - ・学年の取組や指導事項のタイムリーな情報提供
 - ・学校自己評価、授業評価の分析と改善策の構築

<横の連携P>

昨年度の成果の概要

- ・青少年育成委員会の設立
- ・学習バスの利用
- ・新地区懇談会の開催
- ・学校関係者評価の実施
- ・地区の行事や活動への参加拡大

○学校、家庭、地域が連携し「戸隠教育」の推進を図る。

- ◇青少年育成委員会の充実
- ・「戸隠教育」の骨子完成
- ・地区懇談会及び学校関係者評価の充実
- ・学習バスの利用拡大
- ◇スポーツ文化活動運営委員会の設立
- ◇J A支所、商工会等との連携

